地区NO	概要	ご意見要旨	市長回答要旨	地区NO	地区
1	防災について	宮崎港小の北校舎に避難階段ができている。ぜひ早く地域に周知し、使用できるようにしてほしい。	宮崎港小学校北校舎の避難階段について、担当課に確認したい。	5	檍中
2	環境美化について	市はみやざきエコアクション認証制度を実施しているが、環境省が策定したエコアクション21にすることで、事業を廃止できるのではないか。	ご意見を担当課に繋いで、みやざきエコアクション認証制度について確認したい。	5	檍中
3	開発について	市郡医師会病院跡地等を道の駅などで活用することはできないか。	旧市郡医師会病院跡地は、都市計画上の市街化調整区域であるため、開発できる用途が限られている。今後の土地利用については、引き続き検討している。	5	檍中
4	環境美化について（不法投棄）	一斉清掃を市民総ぐるみで取り組んでいくため、市からのＰＲをお願いしたい。	市民一斉清掃の広報について、自治会と協力しながら、市からも積極的な発信に努めていきたい。	5	檍中
5	地域について（老人クラブ）	老人クラブ活動への補助金は、お茶代や弁当代、イベントの参加賞も対象外となっている。楽しく活動していくためにも、補助金が使い易くなるよう検討してほしい。	食事や景品などの個人の利益になるものは、補助金の対象することが厳しくなっている。そうした中で使いやすくするにはどうすればいいか、担当課と一緒に考えていきたい。	5	檍中
6	農業について（所得向上）	収入面や販売で苦戦している農家について、支援する考えはないか。	市園芸振興協議会と農政部との意見交換を継続しながら、どのような支援ができるか検討していきたい。	5	檍中
7	防災について	災害に備えるためにも、地元消防団の果たす役割は大きい。消防団員は高齢化しているが、新たに加入する人がいない。	地元消防団の皆さんと共に危機感をもって、若手が入るためにはどうすればいいか考えていただけるよう促していきたい。	5	檍中
8	市政について	若者の政治参加が少ない。増えていくことが市の活性化につながる。市長の考えを聞かせてほしい。	1000人集会は中学校単位で行っているが、保護者の参加は少ない。しかし、市長ホットラインでは、若い人たちを中心に多くのご意見をいただくので、現状では色々なチャネルを取り入れて参加を促すしかない。	5	檍中
9	地域について（子ども会）	子ども会運営の担い手を確保するため、老人クラブと連携することはできないか。	地域の色々な役割を地元の方々に担っていただくことで、地域の結束が強まる良いアイデアだと思う。	5	檍中
10	子どもの居場所について（児童クラブ）	放課後児童クラブからの出退状況を確認するため、「登校園管理アプリ」を導入することはできないか。	放課後児童クラブは委託により運営してる。導入する場合には、別途経費が必要となるので、担当課につないで検討したい。	5	檍中
11	市政について（子育て）	子育て支援を充実させるため、県が実施している「おむつの負担軽減モデル事業」を市で取り組む考えはないのか。	担当課との協議や保育園での聞き取りを実施したが、事業内容に課題があり、モデル事業の活用を見送った。なお、教育委員会が、制服や学用品等の保護者負担軽減策をまとめた内容をプレスリリースするが、様々な方法で子育て世帯の経費負担軽減の検討は続けていきたい。	5	檍中
12	公共施設について（新庁舎・新消防庁舎）	今後予想される大地震などの災害にも対応できる拠点とするため、市庁舎や消防庁舎の建て替えについては、必要な予算を使ってほしい。	新庁舎や消防庁舎の建替や移転にあたり、建築費用の削減に努めているが、必要とされる機能や設備については、しっかり作っていきたい。	5	檍中
13	道路について（市道）	吉村通線（平塚工区）は、移転する檍公民館等へアクセスするための重要な幹線道路なので、早期整備をお願いしたい。	（仮称）吉村通線（平塚工区）の事業化については、市議会でも答弁しており、要望もいただいている事項。総合的に勘案しながら判断していきたい。	5	檍中
14	防災について	宮崎市総合発達支援センターは海岸に近く、津波被害を心配している。発達支援センターを移転させることはできないか。	総合発達支援センターは、2階以上への避難経路を確保しており、津波浸水想定を超える高さがある。避難訓練の状況や津波到達の想定時間を踏まえて、今後も施設と避難計画をしっかり確認していきたい。	5	檍中
15	学校教育について（不登校）	中学校区ごとなど、子どもが歩いて登校できる範囲内に教育支援教室を整備する計画はないのか。	校外型教育支援教室を全中学校区への整備することは、多くの財源が必要なため実現は難しい。今年度からは、サテライト型の教育支援教室（大淀川学習館・青少年プラザ）を２つ増設した。	5	檍中
16	地域について（地域コミュニティ税）	自治会活動には共助が重要である。地域コミュニティ税のような仕組みが必要だと思うが市長の考えはどうか。	地域コミュニティ税は、住民税課税世帯に1世帯あたり500円を課税していたが、それだけで自治会活動費を賄うことはできない。課税には市民の理解が必要であるため、今後の研究課題と考えている。	5	檍中
17	学校教育について（不登校）	中学校では授業中に騒ぐ生徒が原因で、教室で授業が受けれない生徒もいる。この生徒らの学ぶ権利も守ってほしい。	全小中学校のこととしてしっかり捉えて、ご意見はすぐに教育委員会に伝えて話をしていきたい。また、学校現場を実際に見ないと伝わってこないことも多いので、今年は全小中学校72校を訪問したいと考えている。	5	檍中
18	地域について（自治会）	市で自治会加入促進ＰＲのためにチラシを作成いただいた。まだ加入促進の効果が十分でないので、引き続きＰＲをお願いしたい。	今年度、自治会加入促進検討会を組織し、有効な加入促進策について検討を行う予定。引き続き加入促進のＰＲを行っていきたい。	5	檍中
19	交通について	宮崎駅東通線が2年後完成するが、渋滞緩和のため、宮崎駅の下に道路を通して、高千穂通りまで抜ける道をつくってほしい。	計画時も高千穂通りと宮崎駅東通線を直結してほしいとの要望があり検討されたが、車道を宮崎駅の地下に設けるための事業費などに課題があり実施されなかった。	5	檍中